

パイプフック PL  
施工要領書

2020年 1月 31日

因幡電機産業株式会社  
開発統括部

## 1. 初めにお読みください

本製品は冷媒用被覆銅管を W3/8 の全ねじボルトに対して、横引き支持するためのものです。それ以外の用途には使用しないでください。

### 【お願い】

- ・屋内専用です。屋外で使用しないでください。
- ・W3/8 ボルト以外には使用しないでください。
- ・許容静荷重 74.5N (7.6kgf) です。それ以上の荷重がかかる配管には使用しないでください。
- ・作業時には作業用手袋などをご使用ください。
- ・0～60℃の範囲内の環境下で保管・ご使用ください。
- ・炎天下の密閉された車中など雰囲気温度が高くなる場所での保管は避けてください。また、常温以上で製品に負荷がかかった状態での保管は避けてください。

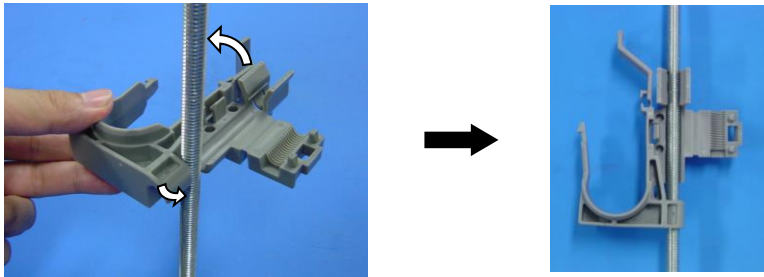
## 2. 施工要領

### (1) 吊りボルトへの仮止め

パイプフックをボルトに仮止めしてください。

この時、パイプフックのねじ山がボルトにカン合していることを確認してください。

注意) パイプフックは、ボルトW3/8 専用です。ボルトM10 には使用しないでください。



仮止め状態

注意) パイプフック仮止め時、被覆銅管を仮置きすることができます。

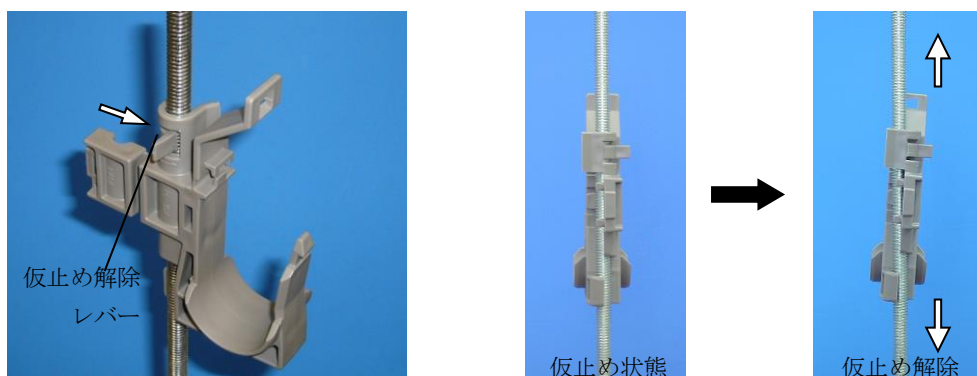
但し、仮置きした被覆銅管に力かけると、パイプフックが脱落する恐れがありますので、ご注意ください。

### (2) 仮止めの解除

仮止め解除レバーを矢印の方向に倒してください。(仮止め解除レバーを倒すとパイプフックのねじ山がボルトから外れ、仮止めを解除できます。)

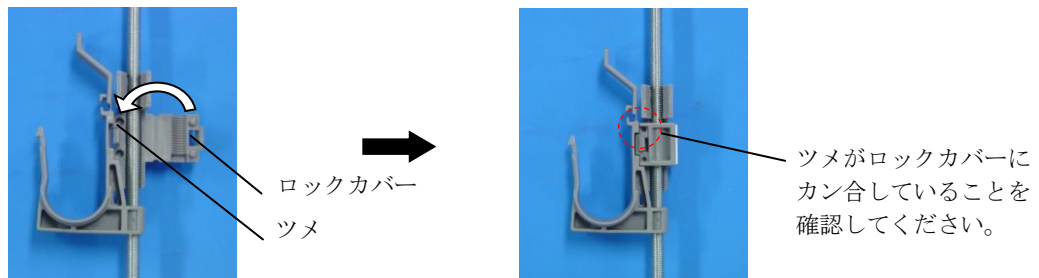
取付け位置を上下に調整した後、パイプフックをボルトに仮止めしてください。

この時、パイプフックのねじ山がボルトにカン合していることを確認してください。



## (3) 吊りボルトへの固定

取付け位置を決定し、矢印の方向にロックカバーを閉じてください。  
この時、ツメがロックカバーにカン合していることを確認してください。



## (4) 固定の解除

パイプフック取付け後に、その位置を再調整する場合は、以下の要領でロックカバーを外してから取付け位置を調整して下さい。ロックカバーは、マイナスドライバーを使って容易に外すことができます。

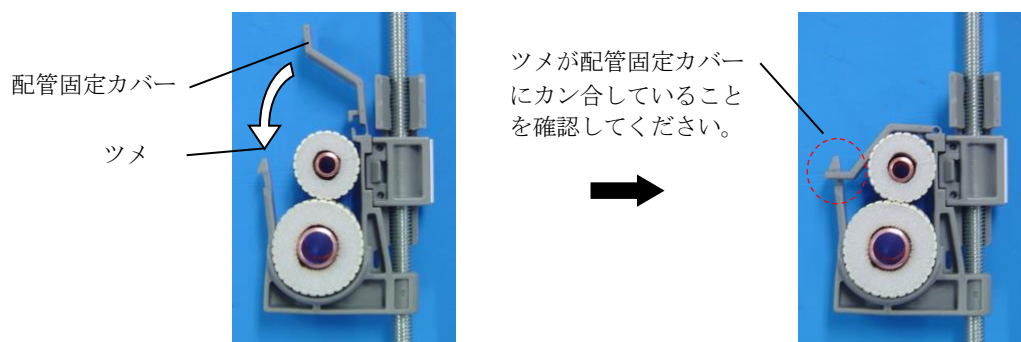
<ロックカバーの外し方>

- ① ドライバー差し込み口に、マイナスドライバーを差し込んでください。
- ② A点を支点にして、矢印の方向に力を掛けてください。



## (5) 配管固定カバーの開閉

被覆銅管を横引き配管した後、矢印の方向に配管固定カバーを閉じてください。  
この時、ツメと配管固定カバーがカン合していることを確認してください。



以上